

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 ラサ工業株式会社
 コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳萬 雅徳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小野 茂夫
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-3278-3892

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	25,943	—	1,036	—	530	—	226	—
20年3月期第3四半期	24,604	3.4	1,419	△33.5	1,021	△45.8	553	△39.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	2.86	—
20年3月期第3四半期	6.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	56,095	—	18,175	—	32.4	—	228.83	—
20年3月期	49,091	—	18,014	—	36.7	—	226.94	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 18,147百万円 20年3月期 17,996百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

21年3月期期末の配当予想については未定です。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△3.9	250	△85.4	△500	—	△650	—	△8.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 79,442,038株 20年3月期 79,442,038株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 136,207株 20年3月期 141,272株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 79,301,474株 20年3月期第3四半期 79,308,098株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 現時点では期末配当については未定です。開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。詳細につきましては、本日発表いたしました「業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、秋口以降全世界的規模での急激かつ大幅な需要減退の影響を受けて景気後退が進行しました。特に、当社の重点分野であります電子材料関連事業は、半導体関連市場の大幅な製品需要減退や価格の下落に加え、国内では円高要因も加わり大きく生産が落ち込みました。当社グループにおいても、この影響を受け経営環境が急速に悪化し売上げは低迷しました。

また、原材料の安定供給のために措置した購入契約を、需要減少に伴い解除したことによる和解金の発生なども加わり、損益は大きく落ち込みました。

このような環境のなか、当第3四半期累計期間における当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりとなりました。

① 化成事業

リン酸などの燐系製品は、原材料価格の大幅な上昇を製品価格に転嫁したことから増収にはなりましたが、第3四半期に入り関連業界の需要の落ち込みが顕著になり、出荷数量は大幅に減少いたしました。

また、水処理用などの凝集剤は、上下水道向けが堅調裡に推移し、製品価格の改訂の効果も加わり増収となりました。コンデンサー向け原料は、当四半期に入りユーザーの生産調整と、販価の大幅な落ち込みにより減収となりました。

この結果、当セグメントの当期間の売上高は、153億32百万円、営業利益は、15億5百万円となりました。

② 機械事業

破砕関連機械は、機械単体販売、プラント工事が、大幅に落ち込み減収となりました。下水道関連の掘進機に関しては、海外向け販売が好調に推移し増収となりました。精密機械加工は、液晶製造装置向け部品の受注が堅調に推移し増収となりましたが、原材料高の影響を受け収益面では所期の目標に達しませんでした。

この結果、当セグメントの当期間の売上高は、45億80百万円、営業利益は、1億52百万円となりました。

③ 電子材料事業

シリコンウェハ―再生事業は、第3四半期に入り未曾有の急激な半導体業界全体に及ぶ、生産量の落ち込み、価格の下落という市場環境の悪化の影響を大きく受け、再生ウェハ―需要が減退したことから大幅な減収となりました。

化合物半導体向け高純度無機素材に関しましても、発光素子向け需要の落ち込みが続き減収となり、IC用塗布材は競合激化の影響から引き続き減収となりました。

この結果、当セグメントの当期間の売上高は、52億84百万円、営業損失は、10億71百万円となりました。

④ その他

石油精製用触媒の再生事業は、総じて好調な受注が続き増収となりました。また不動産の賃貸は前年同期並みで推移しました。

この結果、当セグメントの当期間の売上高は、7億45百万円、営業利益は、4億48百万円となりました。

これらを併せた当第3四半期累計期間の当社グループの連結売上高は、259億43百万円となり、営業利益は、10億36百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて51億77百万円増加し、253億60百万円となりました。この主な増減理由としては、たな卸資産の増加24億24百万円、受取手形及び売掛金の増加12億81百万円、現金及び預金の増加13億89百万円などによるものであります。固定資産は、主として有形固定資産が前連結会計年度末に比べて13億85百万円増加したことにより、307億34百万円となりました。

当第3四半期末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて68億43百万円増加し、379億19百万円となりました。この主な増減理由としては、短期借入金及び長期借入金の増加65億91百万円などによるものであります。

当第3四半期末における純資産につきましては、主としてその他有価証券評価差額金が前連結会計年度末に比べて2億65百万円増加した一方、前期の配当金の支払による3億96百万円の減少などにより、181億75百万円となりました。

この結果、当第3四半期末における資産合計は560億95百万円となり、自己資本比率は32.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して13億95百万円増加し、72億21百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3億48百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2億80百万円、減価償却費24億39百万円、売上債権の増加額14億79百万円及びたな卸資産の増加額24億96百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は52億43百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出52億75百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は63億26百万円となりました。主な内訳は、短期借入金の増加額19億98百万円、長期借入れによる収入65億円及び長期借入金の返済による支出17億80百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の通期業績の状況につきましては、米国に端を発した金融危機が世界各国の実体経済に波及し、想定を遥かに超えた急激な景気の悪化が続いております。電子材料事業のシリコンウェハ再生事業及び化合物半導体向け高純度無機素材は半導体市況の悪化にともなう生産調整により売上が大幅に減少しており、また、化成品事業は燐系製品の需要が大幅に減退しております。

この状況は1月以降厳しさが増す見通しであることから、当社グループの売上高については320億円、営業利益は2億50百万円、経常損失は5億円、また当期純損失は6億50百万円に修正いたします。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

「固定資産の減価償却費の算定方法」、「法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法」について、簡便な会計処理を採用しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ520百万円減少しております。

3. 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

なお、これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,221	5,831
受取手形及び売掛金	9,807	8,525
商品及び製品	2,745	1,996
仕掛品	2,047	1,651
原材料及び貯蔵品	2,265	986
その他	1,317	1,202
貸倒引当金	△43	△11
流動資産合計	25,360	20,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,259	6,460
機械装置及び運搬具（純額）	8,196	9,722
工具、器具及び備品（純額）	493	562
土地	5,362	5,361
建設仮勘定	4,327	2,147
有形固定資産合計	25,639	24,254
無形固定資産		
借地権	919	919
その他	286	349
無形固定資産合計	1,206	1,269
投資その他の資産		
投資有価証券	2,142	1,825
その他	1,867	1,574
貸倒引当金	△121	△15
投資その他の資産合計	3,888	3,384
固定資産合計	30,734	28,908
資産合計	56,095	49,091

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,414	5,339
短期借入金	11,921	9,511
未払法人税等	108	51
賞与引当金	232	466
その他	3,535	4,165
流動負債合計	22,212	19,533
固定負債		
長期借入金	13,081	8,900
退職給付引当金	1,667	1,608
その他	958	1,033
固定負債合計	15,707	11,543
負債合計	37,919	31,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
資本剰余金	5,728	5,729
利益剰余金	3,487	3,660
自己株式	△35	△39
株主資本合計	17,624	17,793
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	370	104
為替換算調整勘定	152	98
評価・換算差額等合計	522	202
少数株主持分	28	18
純資産合計	18,175	18,014
負債純資産合計	56,095	49,091

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	25,943
売上原価	20,872
売上総利益	5,070
販売費及び一般管理費	4,034
営業利益	1,036
営業外収益	
受取利息	8
受取配当金	39
受取地代家賃	30
その他	46
営業外収益合計	125
営業外費用	
支払利息	296
休止鉱山鉱害対策費用	142
その他	192
営業外費用合計	631
経常利益	530
特別利益	—
特別損失	
契約解除和解金	225
その他	24
特別損失合計	250
税金等調整前四半期純利益	280
法人税、住民税及び事業税	263
法人税等調整額	△217
法人税等合計	46
少数株主利益	7
四半期純利益	226

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	280
減価償却費	2,439
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△234
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	58
受取利息及び受取配当金	△48
支払利息	296
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,479
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,496
その他の資産の増減額 (△は増加)	△201
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,161
その他の負債の増減額 (△は減少)	640
その他	191
小計	608
利息及び配当金の受取額	48
利息の支払額	△292
法人税等の支払額	△218
法人税等の還付額	202
営業活動によるキャッシュ・フロー	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△5,275
その他	32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,243
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,998
長期借入れによる収入	6,500
長期借入金の返済による支出	△1,780
配当金の支払額	△395
その他	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,326
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,395
現金及び現金同等物の期首残高	5,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,221

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	化成品事業 (百万円)	機械事業 (百万円)	電子材料事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	15,332	4,580	5,284	745	25,943	—	25,943
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	46	1	0	32	81	(81)	—
計	15,378	4,581	5,285	778	26,024	(81)	25,943
営業利益又は営業損失(△)	1,505	152	△1,071	448	1,034	1	1,036

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主な製品及び事業
化成品事業	磷酸・磷酸二次塩類、水処理用凝集剤、電子工業向け高機能高純度薬剤、消臭・抗菌剤
機械事業	掘進機、破碎関連機械、鋳鋼製品、都市ごみ・産業廃棄物処理機械、精密機械加工、特殊スクリーン
電子材料事業	シリコンウェハー再生、高純度無機素材、IC用塗布材
その他の事業	石油精製用触媒再生、不動産の売買・賃貸

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アジア	欧米	計
I 海外売上高(百万円)	5,105	1,627	6,733
II 連結売上高(百万円)			25,943
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	19.7	6.3	26.0

(注) 1. 国又は地域区分の方法

地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア：東アジア及び東南アジア諸国

欧米：ヨーロッパ諸国、米国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	24,604
II 売上原価	19,136
売上総利益	5,467
III 販売費及び一般管理費	4,047
営業利益	1,419
IV 営業外収益	133
V 営業外費用	532
経常利益	1,021
VI 特別利益	126
VII 特別損失	215
税金等調整前四半期純利益	931
税金費用	379
少数株主利益	△1
四半期純利益	553